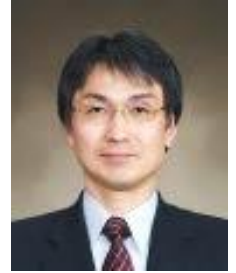


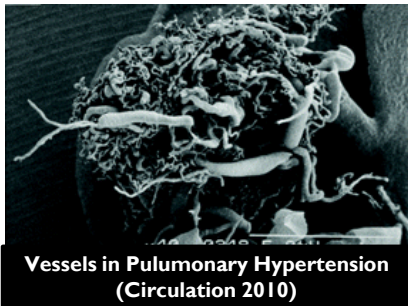
From Cell to Bedside in Cardiology



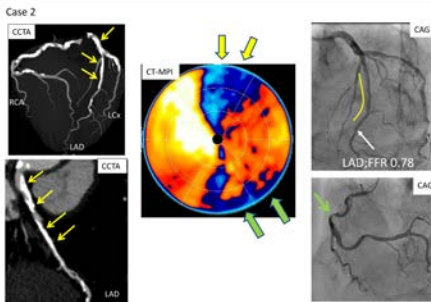
分野紹介

高齢社会を迎えた現在、循環器内科の担う役割は急速に増大している。現在では、薬物治療に加えさまざまな“非薬物治療”が可能となり、内科領域でも目覚ましい進歩を遂げている分野である。

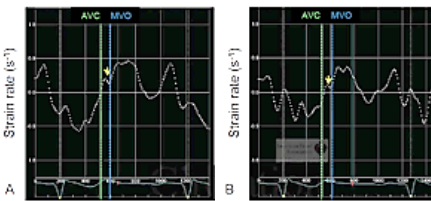
岡山大学循環器内科では循環器系疾患の発症から末期に至るまでの包括的な研究を、基礎・臨床の両面から行っている。実際には動脈硬化・高血圧、虚血性心疾患、心不全・再生医療、不整脈、肺高血圧など、極めて多様性のある基礎・臨床研究を行っている。



Vessels in Pulmonary Hypertension
(Circulation 2010)



Myocardial Perfusion Imaging with
CT and FFR
(PLOS One 2016)



ICD Shock and Cardiac function
(Circ Arrhythm Electrophysiol. 2012)

- 1) **動脈硬化**: 多施設共同研究による臨床的な動脈硬化予防研究とともに、動脈瘤モデルマウスを用いた基礎研究により、動脈硬化機序の解明、治療介入による効果の研究を行っている。
- 2) **虚血性心疾患**: 冠動脈CTによる冠動脈病変の評価や、remote ischemic preconditionin (RIPC)による遠隔臓器保護効果が安定狭心症の経皮的冠動脈形成時に得られるか、多施設共同試験を行っている。
- 3) **心不全・再生医療**: 当施設は心移植実施施設であり重症心不全を積極的に受け入れ様々な角度から治療介入を行っている。臨床研究においては左室拡張能や右心機能を含めた包括的な心機能評価を心エコーで行い、新たな心機能評価の確立などを目指している。基礎研究ではES細胞・iPS細胞・ヒト心臓内幹細胞を用いた心機能再生の礎となる基礎研究を遺伝子や分子レベルで行っている。
- 4) **不整脈**: 臨床的に遺伝子解析から電気生理学的検査、薬物治療や植え込み型除細動器植え込みまで一貫した治療・研究を行っている。臨床研究では基礎実験で想定される不整脈の機序がヒトの心臓でどうなっているか電気生理学的検査で検討し、重症不整脈の機序解明や治療方法の確立を試みている。また基礎実験としては心室頻拍誘発物質の同定を試みている。
- 5) **肺高血圧症**: 当施設では肺移植症例が多く、肺高血圧症の臨床研究を行うだけでなく、肺高血圧症に対する治療薬の分子レベルでの機序解明や、それに即した新たな治療法の開発を行っている。

連絡先／岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻

循環器内科学 伊藤 浩、西井伸洋

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

Tel. 086-235-7351

Fax.086-235-7353

E-mail: nnnnishi2001@yahoo.co.jp

URL: <http://okayama-u-cvm.jp>